

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES（証券コード:3563）

【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-

■格付事由

- 外食大手の一角。回転寿司チェーン最大手あきんどスシローを傘下に置く持株会社。グループは、経営戦略、人事、財務などの点で強い一体性を有しており、格付はグループ全体の信用力を反映している。直営方式で運営する「スシロー」を主力とし、業界屈指の食材調達力、原価率 50%を目安とする商品政策、味と鮮度に拘るための店内調理、IT システムを活用した効率的な店舗運営などが、当社の高い集客力を支えている。グループとして、21 年 6 月末時点で 971 店舗（国内 918 店舗、海外 53 店舗）を構える。なお、さらなる事業領域の拡大とグローバル展開の加速を目指すとして、21 年 4 月に「スシローグローバルホールディングス」から社名変更している。
- コロナ禍における外食業界への逆風の中で、当社業績は堅調に推移している。国内スシロー業態を中心に積極的な出店方針を継続しており、強い競争力やソウルフードとしての底堅い需要に支えられ、売上水準は右肩上がり成長している。拡大する中食需要に対して、スピード感を持って展開している営業施策も奏功している。財務面は、当社の高いキャッシュフロー創出力を背景に、引き続き改善が進むとみている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 21/9 期（IFRS）は売上収益 2,430 億円（前期比 18.6%増）、営業利益 210 億円（同 74.1%増）と、売上、各利益ともに過去最高を記録する見通し。テイクアウト専門店の新規出店やデリバリー対象エリアの拡充など時流に即した対応をとる一方で、都心部への出店や海外展開の拡大など業容拡大も進めている。また、21 年 4 月に吉野家ホールディングスの子会社であった京樽を完全子会社化した。今後の両社ブランドの展開方針やシナジー効果の発現状況を確認していく。
- 21/9 期第 3 四半期末（IFRS）の親会社所有者帰属持分比率は 21.4%（20/9 期末 21.4%）、ネット DER は 2.28 倍（同 2.43 倍）となった。財務構成の改善余地はあるが、厳しい事業環境の中でも利益を創出し、着実に自己資本の蓄積を進めている。中長期的には国内、海外ともに出店を拡大していくとみられ、投資動向をフォローする必要はあるものの、今後も財務構成は改善基調で推移すると考えている。

（担当）殿村 成信・石崎 美瑛

■格付対象

発行体：株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50 億円	2020 年 1 月 23 日	2025 年 1 月 23 日	0.170%	A-
第 2 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50 億円	2020 年 1 月 23 日	2030 年 1 月 23 日	0.350%	A-
第 3 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 11 月 27 日	2023 年 11 月 27 日	0.080%	A-

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年8月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「外食」(2011年7月13日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付の視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル